

事業者排出量削減報告書

(あて先) 京都府知事	
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市東山区今熊野北日吉町35番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名。記名押印又は署名） 学校法人京都女子学園 理事長 高谷 辰生 電話 075

京都府地球温暖化対策条例第19条の規定により提出します。

特定事業者の主たる業種	学校教育機関（学校法人）
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））
計画期間	平成 18 年 4 月 ~ 平成 20 年 3 月
基本方針	エネルギー消費効率の改善により、約8%の温室効果ガス排出量の削減を目指す。（＜19＞施設・設備保守管理業務委託業者等にエネルギー消費効率の改善の協力を依頼した。）

推進体制	財務部施設課において、エネルギー消費効率改善の施策を講じる。（＜19＞財務部施設課において、以下の具体的な取組及び措置計画を実施した。）
------	--

年度ごとの具体的な取組及び措置	年度	設備、対象、工程等	措置内容	
			18~19	各校舎等
18~19	各校舎等	照明・空調・給排水設備等の保守点検及び整備を定期的に実施し、省エネルギー化を図る。（＜19＞定期的に点検及び整備を実施し、省エネルギー化に努めた。）		
18~19	各校舎等	高効率省エネルギー型照明器具の使用及び照明の適正化（照度等）に努める。（＜19＞照明器具更新時に、高効率省エネルギー型照明器具の使用に努めた。）		
18	A校舎	ヒートポンプ等の省エネルギー型空調設備を積極的に導入する。（＜18＞ヒートポンプ導入等に伴い、空調ガス使用量を約15%削減した。）		
19	高校・中学校校舎	暖房ガス燃料温水発生機の室外機を省エネルギー型の室外機に更新する。（＜19＞省エネルギー型の室外機更新等に伴い、空調ガス使用量を削減した。）		
19	各校舎等	校舎2棟・学寮3棟の既設変圧器を省エネルギー型の変圧器に更新する。（＜19＞省エネルギー型の変圧器更新等に伴い、電気使用量を削減した。）		

温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績）	目標年度（計画）	削減率	報告年度（実績）	削減率
		(17)年度 (二酸化炭素換算 (t))	(19)年度 (二酸化炭素換算 (t))	(計画) (%)	(19)年度 (二酸化炭素換算 (t))	(実績) (%)
A	事業所等排出区分	4,458 t	4,083 t	-8.4 %	4,235 t	-5.0 %
B	輸送車両排出区分	t	t	%	t	%
C	その他排出区分	t	t	%	t	%
	排出合計	*1 4,458 t	*2 4,083 t	-8.4 %	*4 4,235 t	-5.0 %

その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）		
		取組量等	(二酸化炭素換算 (t))		取組量等	(二酸化炭素換算 (t))	
森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t		(整備面積) ha	(吸収量) t		
府内産の木材の利用	(利用量) m ³	(削減量) t		(利用量) m ³	(削減量) t		
自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量) kwh	(削減量) t		(発電量) kwh	(削減量) t		
	(熱供給量) GJ	(削減量) t		(熱供給量) GJ	(削減量) t		
グリーン電力の購入	(購入量) kwh	(削減量) t		(購入量) kwh	(削減量) t		
	削減量等合計		*3 t		*5 t		

差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度（実績）	目標年度（計画）	削減率（計画）	報告年度（実績）	削減率（実績）
	*1	4,458 t	(*2)-(*3) 4,083 t	-8.4 %	(*4)-(*5) 4,235 t

特記事項
 NEDO技術開発機構が公募する平成19年度「太陽光発電新技術等フィールドテスト事業」の採択を受け、京都女子大学附属小学校に太陽光発電システム（20Kwh）を設置し、共同研究事業（平成19年度から平成23年度までの5年間）を実施している。
 平成18年度より、環境省が運営する地球温暖化対策推進国民運動「チーム・マイナス6%」に京都女子大学現代社会学部が参加し、継続的に環境教育活動を実施している。
 京都市左京区大原尾越町に257.937㎡の自然林（京女の森）を所有し、専門家や学生による自然調査を実施している他、環境教育活動にも活用している。また当該自然林は、園により水源涵養保安林に指定されている。
 冷暖房時の適切な温度設定管理を実施するため、学園全体に文書を配布し、周知している。
 冷暖房設備切替作業と併せて、学園内各校舎各室の室内機のフィルター清掃を定期的に実施している。
 学園内で発生する資源ごみ（紙類・缶類・びん類・ペットボトル等）を分別回収し、業者引取によるリサイクルを実施している。
 京都女子大学附属小学校、京都女子中学校、及び京都女子大学・京都女子大学短期大学部において、奉仕活動の一環として近隣通学路等の清掃活動を実施している。

連絡先	担当部署	
	担当者氏名	
	住所	
	電話番号	
	ファクシミリ番号	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」の実績については、計画期間中の実績の累計を記入してください。
 (例) グリーン電力の購入による温室効果ガスの削減実績が18年度5トンで19年度10トンの場合、19年度の報告書の実績については18年度と19年度の実績を累計し15トンと記入
 5 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比やエネルギー原単位CO₂排出量、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達等の採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。